



過ごしやすい季節になり、戸外での活動が増えてくるころです。

こどもの「やってみたい」という気持ちを大事にしながら安全に楽しい活動ができるよう、置き去りや見落としの対策等、安全管理にも気をつけましょう。

## Topics

## 巡回指導トピックス

今回は秋の活動について、巡回指導員が巡回先の保育施設で伺ったお話や事例をご紹介します。



### 自然との関わり

プランターでサツマイモを栽培して、収穫体験をしています。収穫したサツマイモは給食で食べる以外にも「芋ハンコ」の制作等、食育や制作活動に繋げています。

地域の農家等と連携して、畑で芋ほり体験をしている施設もあります。



### 子どもの主体的な活動

「夏に地域で体験したおまつりを園でもしたい」というこどもの気持ちを受け、縁日ごっこ(秋まつり)を実施しました。こどものやりたい気持ちを大事にし、そこから活動を生み出しています。

### 季節の行事・地域との交流

ハロウィンの時期(10月)に、仮装して地域の施設関係者をまわっています。施設関係者には事前にお菓子を預けておき、当日子どもたちへ渡してもらうことで、地域と子どもたちのふれあいの機会となっています。



「保育所保育指針 第2章 2-(2)-ウ, 3-(2)-ウ 環境 および 保育所保育指針 第2章 2-(2)-オ, 3-(2)-オ 表現」も確認しましょう

## Information

## 保育インフォメーション

今回は園外活動における事故防止・事故対応についてご紹介します。

こどもが身近な自然や地域社会の人々の生活に触れ、豊かな体験を得る機会をつくるために園外活動を取り入れている施設も多いと思います。園外活動を行う際は、こどもの発達やその時々の状態を把握し、一人一人にとって無理なく充実した体験となるよう、指導計画を基に実施しましょう。

### 事故防止・事故対応の取組

- 目的地や経路の安全確認を事前に行う。
- 職員体制と役割分担、緊急事態発生時の連絡方法の確認を事前に行う。
- **目的地への出発時と到着時の他、随時人数や健康状態の確認を行う。**電車やバス等の乗降時は必ず人数確認を行う。
- 普段の園内活動や園外活動時(お散歩等)からヒヤリハットの収集分析に取り組む。

保育活動時はこどもたちの観察の空白時間を作らない!



### 事故防止・事故対応の取組に係る工夫

- 施設内の職員がよく目にする場所に台紙を設置し、普段から各職員がヒヤリハットを付箋に書いて貼っている施設もあります。
- 迷子等の緊急時に備え、出発時のこども全員の服装を撮影記録している施設もあります。

多くのヒヤリハットに気付くことが大切!



【参考】未就学児が日常的に集団で移動する経路の交通安全の確保について(こども家庭庁)

「保育所保育指針 第3章 3-(2) 事故防止及び安全対策」も確認しましょう!

## 11月は... オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間です

子どもの人権に配慮した保育となっているか、常に全職員で確認することが必要です。

『保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト』

(全国保育士会発行)』等を活用し、定期的にこどもへの対応について確認しましょう。

また、家庭等における虐待が疑われる場合には速やかに対応できるよう、日頃から児童相談所との連携を意識しましょう。

通話料無料  
児童相談所  
虐待対応  
ダイヤル  
189